Japan Geoscience Union Meeting 2015
(May 24th - 28th at Makuhari, Chiba, Japan)
©2015. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

SVC45-P14 会場:コンベンションホール 時間:5 月 27 日 18:15-19:30

２０１３－２０１５年の西之島の火山活動
Volcanic activity of Nishinoshima volcano in 2013-2015

小野 智三 [1*]
ONO, Tomozo[1*]

[1] 海上保安庁海洋情報部
[1]Japan Coast Guard

２０１３年１１月２０日に活動を開始した小笠原諸島西之島火山の火山活動は、２０１４年４月までの活動は、昨年の地球惑星連合２０１４年大会で既に報告したが、１年以上経過した２０１５年１月２１日現在でも継続している。

海上保安庁では、活動開始が確認されてから現在まで東京工業大学と協力して観測を実施してきた。２０１５年大会では２０１４年大会報告後の活動を紹介する。

２０１４年５月から７月までは、新たな陸地の東側に数カ所に形成された溶岩流出口から溶岩を流出し東方向へ拡大していた。２０１４年８月２６日には、火口内に溶岩マウンドを形成した。２０１４年９月１７日には、大量の溶岩を西之島の北方向へ流出させて、１９７３～１９７４年の火山活動で形成された西之島新島を埋没させ、西之島北側の水深が浅い海域を埋め立てた。その後、２０１４年１２月２５日には、１９７３～１９７４年の火山活動以前から存在した西之島は、溶岩流の成長により一部を残し埋没し、小規模な溶岩原を形成している。

新たな陸地の中央付近にある火砕丘では、２０１４年４月～７月の間は、２～３カ所の火口からストロンボリ式噴火を繰り返していたが、８月の溶岩マウンド形成後、概ね火口は１カ所となり、安定して火砕丘の成長を継続している。